

総務建設常任委員会

- 委員長 藤野 莞嗣
- 副委員長 脇田 義政
- 委員 小林 征男
- 委員 藤木 匠
- 委員 黒川 悟
- 委員 鳴海 圭矢
- 委員 時任 裕史

農林振興課

宇美町食育・地産地消推進事業

家庭や地域における食育の推進などの5つの重要施策に対して、目標となる指標と具体的な取り組み、内容を定める。この資料をもとに各年度の設定した指標が改善されるように毎年、前年の見直しを5月、中間見直しを11月に行う予定。

本計画は平成28年から32年までの5か年となっている。



かすやのお米を使ったおにぎりづくり

問 学校・保育園等における推進の中の安全性の確保は。

答 関係各課でプランに則り、安全なもの、特に地産地消を目指したものを、できるだけ取り入れていく。この中で学校教育、子育て支援課で検討して、それぞれの指標を出してもらおう。

建設課

福岡・太宰府線の進捗状況

原田上区日の丸バス停までの道路改良及び歩道設置が完了することとなっている。太宰府までの約600mについても、本年度、只越口バス停付近の用地購入、法面部分の設計を実施。来年度には用地測量、物件調査を経て、購入した用地の工事着手を検討している。

問 日の丸バス停から只越までの区間、完成までのくらいかかるか。

答 福岡県土整備事務所道路課では、まだ用地交渉が残っており、完成まで4、5年以上はかかると聞いている。



福岡太宰府線 原田上付近

上下水道課

料金改定後の水道使用水量

平成29年1月から水道使用料金の改定を行った。戸数は増えているが、使用量は減っているという状況である。

問 使用料金を直すところ、どのような状況か。

答 当初の給水収益見込みに対して1,200万円程度減収。

問 給水戸数は増えているが、使用水量は減少しているのは。

答 核家族化と節水機器の普及が主な要因。



試験混水中の五ヶ山ダム

前年度との比較増減

使用水量の単位：m³

	家事用		営業用		官公署用		一時用		合計	
	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量	給水戸数	使用水量
1月	47	△ 394	15	△ 1,025	△ 1	△ 1,684	6	△ 2,399	67	△ 5,502
2月	36	△ 3,563	10	△ 2,187	0	△ 1,056	△ 4	△ 1,886	42	△ 8,692
計	83	△ 3,957	25	△ 3,212	△ 1	△ 2,740	2	△ 4,285	109	△ 14,194

厚生文教常任委員会

委員長 飛賀 貴夫
副委員長 犬塚 齊
委員 松下 弘毅
委員 藤木 匠
委員 南里 正秀
委員 古賀ひろ子

なり、再度見直しを行う。

平成29年度の夏休み期間中に工事ができるように進める。

子育て支援事業

子育て支援課

今回新規の取組として保育所等利用者支援事業を創設。

児童保育事業
平成29年度の入所予定児童数は、対象児童をこれまでの3年生から6年生まで拡大。2月1日現在、431名で定員の500名に対して86.2%。

前年度との比較では、全体で30名の増だが待機児童はいない。

問 井野小学校児童保育所の計画は。

答 空き教室利用で試算したが、改修費が高額と



子育て支援課窓口

福祉課

敬老祝金の見直し

敬老祝金支給事業は、敬老の意を表し、高齢者の生きがいと福祉の増進に資することを目的に実施。

平成29年度から支給年齢77歳、88歳、99歳、100歳以上に祝金を支給。

金額は1万円に統一し、口座振替に変更。

問 対象年齢、金額、口座振替、なぜ見直しか。

答 対象年齢、金額を糟屋地区に合わせ、現金の取扱い事故を回避するため口座振替に見直した。

社会教育課

宇美町青少年指導員及び青少年指導員会の見直し

平成29年度からは校区コミュニティの活動が本格的に始まるため、青少年指導員会は、28年度をもって活動を終える。

29年度の青少年指導員は、自治会長またはコミュニティ運営協議会会長名のいずれかを推薦。

町全体の活動は社会教育課で会議（研修）を主催、宇美八幡宮放生会の巡回。

報償費は個人に対して支給。30年度以降は教育委員会から青少年指導員の委嘱は行わない。

問 青少年指導員会にかわる連携組織が必要では。

答 平成29年度、この1年をかけ、横の連携ができる組織づくりを関係部署と進めていく。

学校教育課

特別支援教育の現状

障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、適切な指導を行う。

平成28年度就学先決定まで教育支援委員会を8回開催。

対象者は就学前児童27人、在校生65人（判定結果と就学先が一致しない場合もある）

特別支援学級の児童生徒数は、28年度101人、29年度121人。

特別支援教育支援員を29年度は12名配置し、支援の充実を図る。

小中学校トイレの設置状況

文部科学省が平成28年11月に公立小中学校のトイレの設置状況を発表。

全国平均では洋便器率43.3%、和便器率56.7%。福岡県平均の洋便器率48.9%に対し、宇美町は37.6%。

今後は、国の交付金を活用し、計画的に洋式化への改修を進める。29年度は宇美小学校の実施設計を行う。